

MS(むこがわサイエンス) 通信

第10号

Mukogawa Science

武庫川女子大学附属中学校・高等学校
令和2年(2020年) 2月4日発行

3期目のSSH校としての研究開発課題を「未来世代への提言を目指し、女性の科学技術人材を育成するプログラムの開発」として、創造サイエンスコースのみならず、創造グローバルコースも対象に取組を推進していきます。基本的なコンセプトは、研究のみに終始するのではなく、その取組が人のために役立つ取組として、国内外に発信できることを目指します。

- プログラム1 「知」の高度化による科学的素養の育成
- プログラム2 教科横断型カリキュラムの開発
- プログラム3 グローバル科学技術人材の育成



《MS タイム》1月11日(土)

全学年でMSタイムが行われました。高校1年生では、前半はAV1に全員が集合し、研究テーマ・課題設定に向け、本間教諭より課題探究の内容・方法について説明がありました。続いて扶川教諭より課題探究について生徒の実践例を紹介し、探究活動の楽しさについての話がありました。後半は、クラスごとに分かれ、各自の研究テーマ、課題設定について考えました。

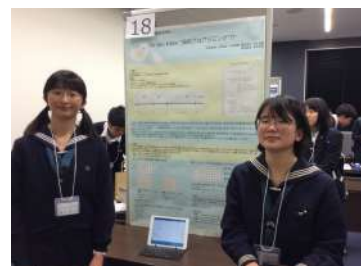


《サイエンスフェア in 兵庫》1月26日(日)

「第12回サイエンスフェア in 兵庫」がニチイ学館ポートアイランドセンターと甲南大学FIRSTで行われました。兵庫県下の高校生が科学技術分野における課題研究に取り組む発表の場として毎年開催され、今年で12回目を迎えます。

本校から口頭発表では「Arduinoで制御する人型ロボット」の発表を行い、ポスター発表では「玄米を食べて健康美人になろう！」

「Do you know 競技プログラミング?」「納豆は地球を救う」「おからパウダー」の発表を行いました。多くの方々からたくさんのアドバイスをいただきました。



《2020 日本数学オリンピック予選 に挑戦》

1月13日(月) 成人の日に全国の高校生約5,000名が都道府県の各会場に分かれて数学オリンピック予選に臨みました。兵庫県では灘中学校高等学校で行われ、本校から高校1年生4名が挑戦しました。

《MS タイム》1月25日(土)

高校1年生では、1月25日(土)「SDGs×『働く』を考える」をテーマに11名の講師の方々より、この1年間学んできたSDGsの内容と関連づけながら、キャリア教育の一環として、講話をしていただきました。11名のうち4名は本校の卒業生で、自身の中高の過ごし方から現在の活躍まで、幅広く紹介していただきました。

このワークショップを通じて、大学の学部・学科選びや、就職先について関心が高まった生徒もいれば、CGコースでは高校2年生から始まる課題探究への関心が高まった生徒もおり、有意義な時間を過ごすことができました。



《科学探究I 立命館守山中学校高等学校との交流》1月30日(木)

SSH指定校の立命館守山中学校高等学校を訪れました。ロボカップ世界大会準優勝のサイテック部の生徒との交流や生物科学部の取り組みの紹介、探究活動のThinking Design(教科を横断した生徒間での意見交換授業)の参加を通じて、生徒たちは大変刺激を受け楽しく貴重な時間を過ごすことができました。



高校3年生Iコースでは、各自テーマを決め、論文を作成してきました。卒論のテーマはさまざまで、身近なことから世界的なことまで、各自で調べた内容です。今回の発表会は、各クラスの代表者1名による発表で、1人5分~10分程度でした。発表のテーマは、献血、災害復興支援、結婚観、大人になるということ、日本と海外の教育、サザエさんについて、とバラエティに富み、内容も充実したものでした。



《中学1年 校外研修》1月30日(木)

中学1年CSコースはアサヒビール吹田工場に行きました。工場ではビールができるまでの各工程(製麦工程、仕込工程、発酵熟成工程、ろ過工程、パッケージ工程)について解説があり、「発酵」とそれを利用した食品について学びました。最後に企業の環境についての取り組みも教えていただき、生徒たちも環境の課題に積極的に取り組まなければいけないことを実感しました。

